

琉球大学学術リポジトリ

[和名] キクザトサワヘビ [学名] *Opisthotropis kikuzatoi* (Okada & Takara, 1958)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 当山, 昌直 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/12651

キクザトサワヘビ

Liopeltis kikuzatoi Okada & Takara, 1958現在の学名 : *Opisthotropis kikuzatoi* (Okada & Takara, 1958)

Sci. name: *Liopeltis kikuzatoi*
 OKADA et TAKARA
 Jap. name: Kikuzato-sahebi
 Place: Kume-jima
 Date: Sept. 15, 1956
 Collector: Kyotatsu Kikuzato



Holotype (RUMF-ZH-00653)

原記載 : 岡田弥一郎・高良鉄夫, 1958. 琉球産アオヘビの一新種. 日本生物地理学会会報, 20 (3) : 1-3.

関連文献 : Toyama, M., 1983. Taxonomic reassignment of the colubrid snake, *Opheodrys kikuzatoi*, from Kume-jima Island, Ryukyu Archipelago. Jpn. J. Herpetol., 10(2): 33-38.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZH-00653	Holotype	日本沖縄県久米島	1956/09/15	喜久里教達	♂	液浸

本種は、沖縄県久米島の山地溪流にのみ生息する固有種で、日本で唯一、流水中で活動する水棲のヘビである。当初、本タイプ標本1点のみに基づきアオヘビ属（現：*Cyclophiops*）の一種として記載され、発見者の喜久里教達氏の名に因んでキクザトアオヘビ（*Liopeltis kikuzatoi* Okada and Takara, 1958）と命名された。その後、本種の分類学的な再検討が行われ、1983年に筆者（当山昌直）によって現在の学名と和名に変更された。サワヘビ属（*Opisthotropis*）の近縁種は、中国やフィリピン、ボルネオなどに分布しており、いずれも山間部の溪流に生息している。

本種については長い間、報告が原記載一件だけであったため、学界では数十年にわたり詳細がわからないままになっていた。1981年沖縄県立博物館で開催された「沖縄群島両生爬虫類展」に発見者の喜久里教達氏が来られた際に、氏の話から本種が久米島の河川で採集されたことがわかった。この情報提供を元に1982年9月当山らが久米島調査を実施し、河床を這っている本種を採集している。その後に行われた、分類学的再検討にもとづき1983年に属名が変更され、和名も新しいものが1984年（沖縄県立博物館紀要）に提唱された。

(当山 昌直)